

こうざ えもんつうしん
講左衛門通信

平成27年8月9日

第50号

発行 天台宗忍草山東円寺
〒401-0511
南都留郡忍野村忍草38
☎ 0555-84-4114



クニマッスン
出生地 忍野村
山梨県水産技術センター
口癖 でまっすん…

ふじのだいがこうざえもん
富士大我講左衛門 年齢不詳
職業 大我講の先達
(先達とは案内責任者)

『今日は、お盆の始まりの話をしようかのう。お釈迦様の弟子に目連尊者（モクレン ソンジャ）という人がいたん

じゃ。目連尊者はお釈迦さまの弟子の中で大変神通力にすぐれた方なんじゃよ。ある日、目連尊者は亡くなった母親がどうしているかと、神通力を使って見ると、どうしたことが、母親は餓鬼道（がきどう）の世界に落ちていたんじゃ。体は痩せこけ、お腹だけ膨らませて、口に入れようと

すると食べ物すべてが燃え上がり、もがき苦しんでいる姿が見えたんじゃ。驚いた目連尊者は、お釈迦様に相談したんじゃよ。お釈迦様は「修行から帰って来られたお坊さんたちを供養すること

によって母親は餓鬼道の苦しみから救われるだろう。」と言われたんじゃ。早速、目連尊者は何百人というお坊さんを供養したんじゃ。そして、神通力で母親の様子を見てみると、母親は餓鬼道より救われ、極楽で微笑んでいたんじゃ。これがお盆の始まりと言われているんじゃよ。』

『なぜ、目連尊者のお母さんは、餓鬼道に落ちてしまったでまっすん？』

『生前、他人の不幸を省みず、おのれの欲求のみに生きていたんじゃ。その結果が餓鬼道だったんじゃな。わしらは凡人じゃ。つい欲深い行いを知らず知らずの間に行っていることもあるかもしれん。その結果によって餓鬼道の世界に落ちてしまうことは無理もない話なんじゃよ。』

『餓鬼道には落ちたくないでまっすん。講左衛門さん、どうしたらいいでまっすん？』

『餓鬼道の世界で苦しんでいる人々の為に、わしらが代わって善行を積むことじゃ。餓鬼道の世界で苦しむ人々を極楽世界へと導いてもらうということを施餓鬼と言うんじゃが、あらゆる餓鬼や無縁仏に施しをすることは、功德を積む行いなんじゃ。その功德は子孫、また先祖にまで及ぶんじゃ。結果的にそれは先祖追善供養になっているんじゃ。お盆は、施しの心の大切さを教えてくれるとともに、先祖供養することの大切さを学ぶことができる行事なんじゃよ。』

『よく分かったでまっすん。次回は、どのような話をしてくれるでまっすん？』

『次回は、大日如来について話をしようかのう。大日如来は、密教と深い関わりのある仏様なんじゃが、一般的に認知度は低いと思うんじゃよ。けれども、富士山との関わりも深い仏様だから、詳しく紹介しようと思っておるぞ。以前紹介した「世界遺産登録記念特別展 富士山一信仰と芸術」展には、東円寺の聖観音様と大日如来像が展覧されておるんじゃよ。会場と会期を下記に記載しておくので、是非、足を運んでほしいのう。』

静岡県立美術館 平成27年9月5日（土）～10月12日（月）

山梨県立博物館 平成27年10月24日（土）～11月30日（月）

主催 静岡県立美術館・山梨県立博物館

『講左衛門通信』は、第2・第4日曜日に発行予定